

「壬生町ゆうがおマラソン大会」給水所ボランティア 中学生スタッフ 36 人が大活躍！

全国各地から来町したランナーに、
給水所で勇気と笑顔を与えてくれた
中学生のみなさん、お疲れさまでした！

12月2日（日）、かんぴょう伝来300年記念「壬生町ゆうがおマラソン大会」が壬生総合公園陸上競技場で行われ、36名の中学生が給水所運営補助ボランティアとして活躍、10kmの部に出場したランナーを勇気づけました。



「約8,000名が来場」

北は青森県、南は佐賀県からエントリーがあり、多くの来場者で賑わいました。



「朝のスタッフ・ミーティング」

ランナーを励まし勇気づける給水所スタッフの役割を確認しました。



「給水所の設営（落ち葉掃き）」

前日の風雪で道路に散った落ち葉をきれいに掃除。路をきれいにしました。



「給水所の設営（給水準備）」

10kmの部に出場する630人に提供する「壬生の水」を心を込めて準備しました。



「みんなガンバレ」の看板

給水所すぐそばには、地域住民の方が作成した応援看板がありました。



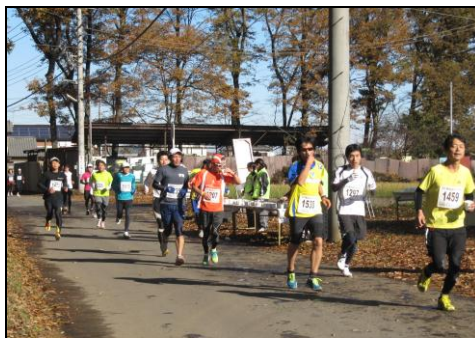
「先頭集団のランナーが通過」

いよいよ給水所の活動が本格始動！ランナーがコップをとりやすいように工夫しました。



「“ファイト～”の大声援」

中学生による元気のいいさわやかな声援がランナーを勇気づけました。



「ランナーから感謝の声」

激励を受けたランナーから中学生に、「ありがとう！」「お疲れ様！」の声が自然と聞こえました。



「ランナーを励ます笑顔」

「水を提供する給水所」から「笑顔でランナーを元気にする給水所」へ。



「高橋尚子さんのハイタッチ」

ゲストランナーの高橋尚子さんが、多くのランナーを激励しました。



「車塚古墳前給水所スタッフ」

スタートから約5km地点での給水所を運営しました。



「国谷駅交差点付近給水所スタッフ」

スタートから約7.8km地点での給水所を運営しました。



「閉会式後に高橋尚子さんと記念の一枚。ボランティア活動に励んだ達成感と充実感があふれていました。」

参加した中学生の声

- ランナーを応援したとき、とても良い気持ちになりました。「私は壬生町民の一人なんだ」と今までより実感することができました。笑顔で走るランナーを見て、私の方が元気をもらった気がします。参加して良かったとすごく思いました。良い経験をさせていただいてありがとうございました。(中1女子)
- みんな走っている中、私たちに「ありがとう」を言ってくれた心の優しい大人がいっぱいいました。最初は「文句を言われなかな」と不安でしたが、大丈夫でした。優しい大人のランナーばかりでした。印象に残ったことは、高橋尚子さんがとても一生懸命に走っていたことです。とてもかっこよかったです！今回、ボランティア活動をして本当に良かったと思いました。(中1女子)
- 走っている人に「ありがとう」や「頑張るね！」と言われて、ボランティアをやって良かったと思いました。また機会があったらやってみたいです。(中1女子)
- ランナーの人たちが元気になるような応援ができました。応援すると、「ありがとう」と言ってもらえたのでとてもうれしかったです。機会あったら、またやりたいです。(中1女子)
- ランナーの人たちに「ありがとう」「頑張るね！」などあたたかい言葉をいただきました。とてもうれしかったです。この活動から学んだことを、学校生活や地域での活動に生かして頑張りたいです。(中1女子)
- 「頑張って」と言うと、いろいろな人が「ありがとう」と言ってくれてとてもうれしかったです。これからもどんどん、こういう活動に参加したいです。(中2女子)
- 印象に残ったことは、「頑張ってください」と声を出すと、「ありがとう」と言ってくれた方々がたくさんいたことです。「ありがとう」という声をかけられたらすごくうれしかったです。声を出して良かったと思いました。始める前は、「頑張ってください」がきちんと言えるかなと不安でしたが、始めてみたらきちんと言えたので良かったです。最後まで笑顔で一生懸命活動できたので良かったし、楽しかったです。(中2女子)